

# 報告

## 近畿支部会の報告

### ～近畿支部会「地域とつながる実践」を開催して～

近畿支部長 成田 直（川西市立北陵小学校）

#### 1. はじめに

2010年8月に三鷹で行なわれた第24回天文教育研究会（2010年天文教育普及研究会年会）では、地域とつながりながら天文の魅力を伝えていく実践がたくさん報告されました。そうした流れを受けて、近畿支部では「地域とつながる実践」をテーマとして2010年11月20日（土）に支部会を開催しました。

#### 2. 発表数と参加数について

発表数は11本、参加者数は35人（講師を含む。うち2人はSkypeでの参加。詳細は後述。）でした。地方での年會が参加者100人超えをめざしていることを考えると、ひとつの支部会で30人を超えられたことは支部長として大変うれしく思っています。

ただし、参加者数が多ければいいというわけではないことを付け加えておきます。盛会だったと感じるのは、参加者同士で意見の交流や新たな出会いがあり、とても生産的な会になったと感じているからです。

#### 3. 当日のプログラム

以下に当日のプログラムを掲載します。（発表者は敬称略）

13:00 開会の挨拶、諸連絡

13:15 一般発表

- 「4年生の天文学習」小高大輔（大阪市立丸山小学校）
- 「個に応じた模型疑似体験よる月の満ち欠けの学習指導法」西村一洋（枚方市立樟葉西小学校）

- 「黒点の発生を捉えた」2010洛東高校花山天文台実習」西村昌能、岡和田健文（洛東高校）、黒河宏企、石井貴子（花山天文台）
- 「世界天文年に関連してエジプトの理科の先生（計300人）を集めてコルキッドスピカの工作教室をカイロとルクソールでやってきました報告」花岡靖治（オルビス㈱）
- 「天文ソフトの活用」の活用」作花一志（京都情報大学院大学）

14:30 休憩

14:40 テーマ発表

- 「京都における星のソムリエ実践活動事例」和田浩一（星のソムリエ京都）
- 「神戸・明石に暮らす人びとにとってのカノープス」北尾浩一（財団法人大阪科学振興協会中之島科学研究所）
- 「星空ボランティア『黄華堂』の近況」有本淳一（京都市立塔南高校）
- 「京大病院小児科病棟での天体観望会の報告」田崎文得（京都大学宇宙物理学教室/黄華堂）
- 「惑星科学を育てる広報活動について」山田耕（神戸大学惑星科学研究センター）
- 「神戸大学サイエンスショップ天文ボランティア「アストロノミア」の活動紹介」大善雄（神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻）

16:00 休憩

16:15 セッション「釜ヶ崎から宇宙へ、宇宙から釜ヶ崎へ」

話者：上田假奈代（NPO法人「こえとことばとこころの部屋」）、尾久土正己・富田晃彦（和歌山大学） Skypeでの参加

17:05 閉会

#### 4. セッションについて

セッションも話者のお三方に会場へお越しただいて開催したかったのですが、和歌山大学のお二人が仕事の都合で当日どうしても参加いただけないことになり、今回は LOC として活躍いただいた高橋隼さん(神戸大学)の発案で Skype を利用して会場と和歌山大学をつないでのセッションを行うことになりました。

会場には話題提供者として NPO 法人「こえとことばとこころの部屋」の上田假奈代さんにお越しいただき、釜ヶ崎(別称あいりん地区)での“おっちゃんたち”と星(天文)との出会いについて紹介いただきました。

釜ヶ崎とは、大阪市西成区の JR 大阪環状線新今宮駅より南に位置する日本最大の日雇労働者の就労する場所となっている地区のこと[1]で、ここへ上田さんとのつながりから天文のお話をしに行かれたのが和歌山大学の尾久土さんと富田さんというわけです。



図1 セッション中の会場の様子

このセッションの内容については富田さんから別の記事として報告があると思いますが、私の感想を簡単に述べると、天文普及の新たな道を見たという気がします。また改めて宇宙の魅力やその平等性について気づかされました。

もう一つ、私としては今回のようなご本人が会場におられない形での報告、意見交流が初めての経験だったので非常に興味がありました。(世間では既に一般的に行なわれている

のかもしれませんが・・・)感想はというと、ご本人がその場におられなくても特別に違和感はありませんでした。こうした形での研究会が可能ならば、開催の形態もいろいろな可能性が生まれてくるだろうと感じました。

#### 5. おわりに

今回は初めて神戸大学での開催となりました。このこと自体がこれまで比較的連携が薄かったように思う神戸周辺で天文教育、普及活動をされている方々との出会いにつながりました。また文中にあったように釜ヶ崎での天文普及活動、Skype を利用した開催など新たな可能性を感じる事ができた会となりました。

最後になりましたが、改めて今回の支部会開催に大きなお力添えをいただいた高橋隼さん、伊藤真之さん、堂園いくみさん、大善雄さんをはじめ神戸大学サイエンスショップのみなさん、神戸大学天文ボランティア「アストロノミア」のみなさんにこの場を借りてお礼申し上げます。

#### 文 献

[1] Wikipedia 「あいりん地区」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%82%E3%81%84%E3%82%8A%E3%82%93%E5%9C%B0%E5%8C%BA>



成田 直